

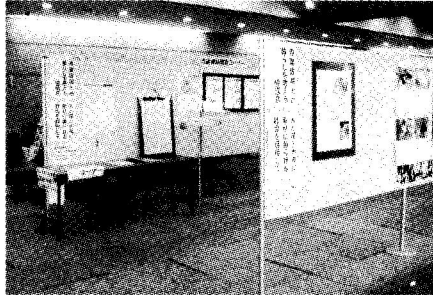
活動レポート

第1回定期総会開催

平成14年6月26日午後2時から青葉区役所3階会議室にて、協議会の第1回定期総会を会員等24名の出席により開催しました。今井副会長の開会、井本会長あいさつ、来賓として青葉福祉保健センター長 古橋彰様より祝辞をいただきました。続いて、土田直人氏(青葉区獣医師会)を議長に議事が進行し、平成13年度事業報告、決算報告、平成14年度事業計画、予算案が承認され約1時間弱で総会が無事終了しました。

＜平成14年度の主要事業＞

- 青葉区ねことの暮らしガイドライン普及啓発活動、●講習会、研修会開催、●キャットメイトの承認啓発、のら猫不妊去勢等支援、●のら猫の新しい飼い主探しの推進、●協議会普及活動。



青葉区役所にて

パネル展開催

8月19日～8月26日まで青葉区役所1階区民ホールにて、青葉福祉保健センターと協力して、猫のガイドラインと当協議会の活動をPRするためパネル展を開催いたしました。暑さが厳しい時季でしたがポスター等の展示物を熱心にご覧になる人が多くみられました。また、神奈川捨猫防止会とニュータウン動物愛護会の活動を写真等で紹介するコーナーも設置しました。

健康まつり2002 参加

10月10日、健康まつりが青葉福祉保健センターで開催されました。青葉区獣医師会のペット健康相談コーナーで、太田理事(神奈川捨猫防止会)の担当で猫の飼育相談を行い、ご近所との関係や猫用のトイレなどの相談や質問にお答えしました。

区民まつりに出展!

11月3日、区役所周辺で開催された青葉区区民まつりに協議会として出展しました。猫の譲渡会と飼育相談をニュータウン動物愛護会と神奈川捨猫防止会の協力により実施しました。このコーナーには多数の方々が訪れました。



会員通信

協議会設立1周年記念講演会開催!

「猫との上手な遊び方・遊ばれ方」～行動学的アプローチによる～

講師：加藤 由子 先生 (動物作家)

*どなたでも参加できます

日時：2月14日(金)午後2時～3時30分

場所：青葉公会堂2階会議室

申込：当日直接会場へ。定員80人(先着順受付) 無料

平成14年度 年会費納入のお願い

平成13年度入会の方で14年度の会費(一般会員年額1000円)を納入いただいていない方は次の口座へ入金してください。 *講演会会場でも納入をお受けします。

郵便局振替口座 00290-6-16690 「青葉区ねことの暮らしを考える協議会」

新規会員の募集中! (一般会員年額1000円) 会計年度4月～3月

随時、募集していますが、上記講演会会場での受付もいたします。

マヌーのいた頃

岡田 貴久子

二十年近く前の話になる。

JR横浜線十日市場駅の裏、今はもうない桜の木の下で猫を拾った。濃い茶色の縞でしっぽの先の曲がった小さな猫は、生まれてまだ半年にも満たないように見えた。ひどくやせているのに、魚の缶詰を鼻先に近付けても食べたそうなそぶりを見せず、その日は六月半ばの梅雨の晴れ間で、汗ばむほどの日差しが照りつけていたのだが、涙と鼻水を垂らしてがたがた震えている。

早速駅近くの動物病院に連れて行った。

獣医さんはむずかしい顔をした。子猫は風邪をひいていて、でもその治療がむずかしいわけじゃない、「問題は目だ」というのだ。子猫の片目には眼球がなかった。生まれつき、なかったらしい。

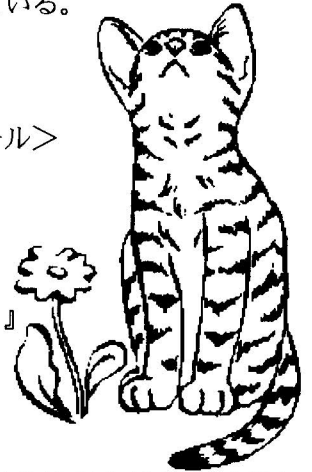
片目でも、風邪の治った子猫はとても可愛らしかった。人のあとをついて歩き、何にでもじゃれついて、不自由な様子はなかった。ただ、当時うちでは猫を飼えない事情があったので、貰い手を探すという段になって困った。残ってる目がいいね、特別きらきらしてるね、そんなふうに言ってくれるひとはいるのかどうか、どう考えてもいないような気がして暗い気持ちになった。が、一人、いた。物語の創作を通じて知り合った友人で、その頃はアパートに

今回は協議会会員で青葉区にお住まいの童話作家 岡田貴久子さんからご寄稿いただきましたお話を掲載いたします。

一人住まいをしながら、様々な雑誌で取材をしたり、記事を書いたりしていた。独特の視点で明晰な文章を書く彼女は、子猫をあっさり引き受けてくれた。

「そうやって運良く生きのびた猫なら、私もその運にあやかれる気がする」と、独特の考えを明晰な言葉にした。子猫は“マヌー”というパリジェンヌふうの名前になり、愛されて幸福に生きた。最後には、友人の郷里・高知で交通事故のために死んだ。

友人の名は坂東真砂子。小説好きな方ならご存知かと思うが、'97年に『山妣』で直木賞を受賞している。今はタヒチ在住で、今でも私は、その方向に足を向けては寝られない。そして友人の文運は無論彼女の實力によるものにほかならないのだけれど、今でも、マヌーの魂がどこかで彼女を見守っていてくれますように、と日々願っている。



<岡田貴久子さんのプロフィール>

1954年生まれ。児童文学作家。

『怪盗クロネコ団』シリーズ、

『K&P』(以上、理論社)、

『ベビーシッターはアヒル!?!』

(ポプラ社)ほか、著書多数。

H14年度不妊去勢手術支援実施状況

22頭(♂10、♀12) H14年12月25日現在

キャットメイト登録団体

ハッピーグリーン・プリンちゃんの会・すみよし台猫の会・ブチの会・キャットママ・のらちゃん・奈良五地区猫クラブ・第一地区猫の会・愛内組クラブ・チロの会・21番地の猫の友達・猫ファンサークル・たんぼぼの会・アールグレイ・新石川・荏子田 以上16団体

協議会への募金について ~H14年度~

募金額152,404円(H14年11月末現在)

内訳:協力動物病院設置募金¥140,058、福祉保健センター窓口¥1,563、区民まつり¥10,783

募金は、のら猫の生活改善や不妊去勢推進など不幸な猫を減らすために使用させていただきます。

御協力ありがとうございました。

賛助会員並びに寄付の御礼

賛助会員(年会費1万円):青葉区食品衛生協会様、若松屋商事様、佛教平和会延命地藏尊様、森久保薬品(株)様、大日本製薬(株)アマルケインズ部様

ご寄付:中島貞夫様 千円、市村政子様 千円

編集後記

2月で協議会の設立1周年を迎えます。今回紹介した各種活動や会報を通じて協議会の活動を区民の皆様へ周知していきたいと思っております。会報の名称・企画についてのご意見や、寄稿等をお待ちしています。